

1 年道徳報告書④

1 年主任 佐野修一郎 R3. 6. 21

今回の教材は「うわさで決めるの？」です。主題は「公正、公平、社会正義」です。SNSで中傷されていたBさんが実は優しい女の子だと知った「私」は、グループの仲間とBさんの間でどうしたらよいのか迷ってしまうという教材です。この教材によって、周りの人たちのうわさや、不確実な情報に頼らず、情報の信頼性について自分の頭で考え、真実を見つける判断力を育てることを目標としています。

○この後「私」はどんな「勇気ある一言」を書き込んだと思いますか。

- ・「こんなうわさを信用しちゃだめ、1度Bさんと話してみてもよ。」と書き入れるか、自分までうわさされるようになっていまいと困るので、「無視はさすがにかわいそう。」と書き入れる。
- ・「実は私、この前Bさんに消しゴムを拾ってもらったんだよね。挨拶とかも良くしてくれるし…。だから、うわさとはBさん全然違ったよ。私から見ると、Bさん良い人だと思うな。私は、無視しないよ。」
- ・驚いているスタンプを送ると思いました。悪いうわさや、注意されただけで無視するのは違うと思います。Bさんが優しい子だということをグループの子に広めた方が良く思うからです。
- ・自分から見たら、とても良い人だから、うわさで決めず、ちゃんと良くないと言ってあげる。理由は、うわさは本当かどうか分からないし、その人から見たら悪い話でも、自分で確かめるべきだし…。

○心に残った友達や先生の言葉を書き留めましょう。

- ・一人でも賛同してくれれば、人は救われるという言葉です。
- ・爽やかな笑顔の人だったよ。私はBさんと仲良くしたいな。私から見るとBさんは良い人だよ。

○今日の授業で感じたことを書きましょう。

- ・うわさではなく、自分の印象で意見を持つことは大事だという事が分かった。うわさは、最初のうわさから、必ず、尾ひれが付き、大きくなっていき、人に盛られてしまい、どんどん大きくなっていくので、自分の意志を強く持っていきたい。
- ・周りが悪口のうわさを言っていて、無視しようとかなくても、「違うな～」と思ったら、「私から見たら…」などの言葉を使って、自分の意見を相手に伝えることが大事だと、今日の授業で感じた。
- ・うわさだけを信じていると、真実が分からなくなってしまうので、うわさを信じずに、自分で確かめることが大事だと思った。そして、自分自身も変なうわさを流さないようにしたい。
- ・うわさは本当のこととは限らない。だから、自分がその人と話をし、どういう人なのか自分で判断すべきだと思った。うわさを教えてくれた人が、その人のことをあまり知らないのなら、それだけで信じるのはだめだと思う。そう考えると、私ならBさんと少しずつ話をしたり、Bさんが周りの人にどのような態度で接しているのかを見たりして、うわさと違うとわかったら、悪い人だと思っている人に教えてあげて、Bさんのことを知ってもらおう。うわさを言うってしまうのは仕方がないけれど、聞いている人は、そういう人だと決めつけてはいけない。
- ・友だちに対して、悪口を書き込んだり、悪いうわさを流したりするのではなく、互いに誉め合ったり、些細なことでも「ありがとう」などのお礼をしっかりとったりして、友だちとの仲を深めていくことが大切だと思います。



----- キリトリセン -----

ご意見・ご感想をお待ちしております。今後の授業計画の参考にさせていただきます。

お子様の名前（ ）

○「道徳報告書③」への保護者からの感想

- ・今後、友だちだけでなく、家族や社会に出た時の人間関係の中で、信頼や相手を敬うという気持ちを心の中に持って関係を築いて欲しいです。
- ・本の内容について、良く理解出来ていませんが、信頼と敬愛は相手のことを認めないと成立しないと思っています。良い事、悪い事も含めて理解し、相手の事を考え、一つ一つの言動・行動をして欲しいと思います。自分を信頼してもらえ言動・行動をしてほしいが、まだまだ自我の発言、言うと思われと思う場面もあるようです。学校生活で多くの友だちと色々な事を話し、考え、行動してもらいたい。
- ・本当の友情は、「信じ合える・言い合える」ことだと思いました。「嫌われるのやだ」ではなく、友情ということを入念に入れて生活して欲しいです。
- ・友だちを信じられるかは、とても難しい事だと思います。どうしても友だちとなると楽しく一緒にいる事の方が楽なので、忠告など友だちを思っている事ができるかは、とても考えさせられます。
- ・本当の友だちは、良い事も悪い事も言い合える関係だと思います。でも、それは、何を言っても良いという訳ではなく、相手の事を思っ、信じているからこそ、できる事だと思います。中高を通じて、今後の財産ともなる一生の友だちを作りたいです。

「あるピエロの物語」は、友情について深く考える作品でした。友情は、自分の気持ちを相手に押しつけていくと崩壊し、相手の気持ちを押し量ってばかりいると辛いものです。人の生き方はバランス感覚が大切ですが、友情はその代表的なものであり、押し付けてばかりでも、押し量ってばかりでもいけないと思います。自分の気持ちをしっかりと伝えながらも、相手の気持ちも大切にしてい、相手のために距離をとることもあり、寄り添って支えてあげることもあるものです。そういう友情を、幼い頃から段階的に学んでいきます。保護者も教師も、もどかしい思いを抱えながら、子どもたちが自ら学び取っていくのを適度な距離感で見守っていくことが大切だと思います。



道徳報告書のご感想やご意見を募集しています。今回の「うわさで決めるの？」のご感想とご意見をお待ちしています。どのような作品であったかは、ぜひ、生徒からお聞きください。親子で友情に関して考える良い機会になると思います。